

2022年12月10日



2023年国際人権会議：アジアの若者たち（ICHR）

主催団体: [Young Professionals in Foreign Policy \(YFPF\) Tokyo](#)
[外交政策の若手プロフェッショナル東京支部] &
[Graduate Program on Human Security \(HSP\), The University of Tokyo \(UoT\)](#)
[東京大学人間の安全保障プログラム]

Tokyo, Japan (Hybrid)

2023年3月

背景

世界人権宣言が国連総会で採択されて以来、人権は人間が生存し、繁栄するための基礎であると広く認識されるようになった。やがて、締約国は自国民のために十分な人権擁護を提供することが義務付けられるようになった。しかし、義務があるにもかかわらず、世界中のすべての人々の人権を擁護することは困難であることが証明されている。世界人権宣言が採択されてから70年経つが、現在も人権に関する課題は続いている。差別から国家による抑圧まで、人権の発展を妨げる紛争や障壁の原因は、個人から国家権力まで多岐にわたっている。さらに、近年の国際社会における緊張の高まり¹は、国境を越える人権とその擁護に未だかつてない脅威をもたらしている。YFPF東京は、グローバル・ガバナンスの基盤として、人権を理解し、擁護することが必要だと考えている。未来に向けた人権課題意識の持続と構築に若者が参加することが重要である。

また、人権という概念は西洋で生まれたものであり、それゆえ西洋社会でしか通用しないという固定観念²が存在する。歴史的に見ても、人権に関する議論の多くはアジア地域以外で行われ、アジアの社会や問題に焦点を当てたものではなかった。したがって、私たちが開催しようとしている会議は、アジアの人権問題に関する若者の議論の最前線となるとともに、日本、アジア、そして世界の若手研究者や学生が集い、この課題について語る場を提供することを目指している。また、アジアの人々に人権問題を身近に感じてもらい、参加者が人権を推進する未来について考えてもらうことを願っている。

目的

この会議は、若い研究者が現代世界の人権問題に取り組むための国際的、世代間的、包括的な機会を提供することを提案している。投稿や学術的な資質もさることながら、若い人々が人権問題を表現し、他者と議論すること、ひいては人権発展の集団的プロセスに関与する感覚を養うことも同様に重視し、奨励している。

¹ UN-OHCHR, <https://www.ohchr.org/en/speeches/2022/03/global-update-bachelet-urges-inclusion-combat-sharply-escalating-misery-and-fear>

² IPI Global Observatory, <https://theglobalobservatory.org/2018/10/are-human-rights-a-western-concept/>

さらに、東京を開催地とすることで、アジアの人権問題に関心を持つ若い学生や研究者が、身近な場所で意見を交わすことができるようになりました。特にアジアの文脈の中で、自分たちを取り巻く人権問題について議論することが、これまで以上に奨励されています。

イベント詳細

- 会議は、2023年3月中旬に東京でハイブリッド形式で開催する予定である。
- 論文投稿と発表は、世界中の応募者、特に人権課題に関心のある学生や若手研究者に開放される。採用された論文は、会議期間中に対面またはオンライン形式で発表される機会がある。

テーマ

- 検閲と表現する権利
- 危機に瀕する民主主義：フェイクニュース、エコーチェンバー、分極化
- 国家の抑圧に対する政治的権利の行使
- 女性と生殖に関する権利
- 労働者の権利と過重労働
- 日本とアジアにおけるLGBTQ+の権利
- 日本とアジアにおけるインクルーシブ教育
- コロナ下の日本とアジアにおける健康権
- 人権における若者のインクルージョン